

第2回教育委員会（定例）議事録

1 開 会

令和5年5月15日（月） 14時00分

2 場 所

市役所第2庁舎3階 2-301・302会議室

3 会議に出席した委員

教育長 丹後 政俊

委 員 西田 正志

委 員 山本 恭子

委 員 鈴木 友美

委 員 吉良 佳晃

4 会議に出席した職員

学校教育部長 西羅 忠和

こども未来部長 稲山 悟

社会教育部長 小林 康弘

学校教育次長 岸田 幸雄

こども未来次長兼保育教育課長 西嶋 睦美

教育総務課長 酒井 寛興

学校教育課長 浅田 智広

学 事 課 長 山本 毅

教育研究所長 足立 圭吾

東部学校給食センター所長 石田 哲也

西部学校給食センター所長 齋藤 昭

子育て企画課長 竹見 朋子

社会教育課長 谷掛 昭二

文化財課長 村上 由樹

中央図書館長 小島 理三

田園交響ホール館長 酒井 直隆

総 務 課 長 河南 剛

中央公民館係長 徳田 実穂

教育総務課課長補佐 山内 俊秀

5 議事日程及び議案

別紙の通り

6 開会宣言

14時03分

7 会 期

（自）令和5年5月15日

（至）令和5年5月15日 1日間

8 会議録署名委員名簿

鈴木 友美委員

9 閉 会

15時55分

丹後教育長 全委員 丹後教育長	日程第 1、令和 5 年度第 1 回会議録の報告、承認について意見等はないか。 異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。
丹後教育長	日程第 2、会議録署名委員は、日程第 4、協議事項の「議席の決定について」を協議した後に指名するので、日程第 3 に進む。
丹後教育長	日程第 3、会期は令和 5 年 5 月 15 日、本日 1 日間とする。
丹後教育長	日程第 4、協議第 1 号「議席の決定について」、教育委員の議席は、慣例により、1 番委員は教育長職務代理者とし、2 番から 4 番委員については任期の長い順に若い番号を付番してきた。これにより、山本委員が 2 番、鈴木委員が 3 番、吉良委員が 4 番となる。この順に決定する。
丹後教育長	議席が決定したので、日程第 2、会議録署名委員の指名に戻る。前回は 2 番山本委員であったので、3 番委員の鈴木委員を指名する。
丹後教育長	日程第 5、議案に移る。議案第 2 号「令和 5 年度 6 月補正予算案を市長に提案することについて」教育総務課説明を求める。
酒井課長	《議案書に基づき説明》
山本委員	スクールサポートスタッフを 1 名から 5 名に増員するとのことであるが、これで全校にスクールサポートスタッフが配置されたこととなるのか。
浅田課長	1 校に 1 名を配置するとなると、合計で 20 名が必要となる中、一人が 3 校を兼務する等の方法もあるが、現時点で 20 校全てに配置することは考えていない。
山本委員	必要に応じ、サポートスタッフが各校を回ることになるのか。
浅田課長	現時点では大規模校、または職員の多い学校から優先的に配置することとしている。将来的には兼任も考えられるが、今年度においてはそこまでは考えていない。
西田委員	業務改善は全ての学校に関わることであり、財政規模や職員規模にかかわらず、将来的には全ての学校に配置していくべきと考える。
浅田課長	増員できるように、引き続き要求していきたい。
西田委員	ALT の任期未更新に伴い新たに 1 名を採用するとのことであるが、現在の配置状況を教示願う。
浅田課長	ALT が 7 名とカバーリング事業での派遣 1 名の計 8 名となっている。
西田委員	5 か月分の給食費無償化を実施するとのことであるが、具体的に何月から何月までの分か。
石田所長	7 月と 2 学期の 9 月～12 月分を無償化する。

<p>西田委員 山本課長</p>	<p>校務支援システム導入について、現在の進捗状況は。 補正予算要求に合わせ、プロポーザルでの業者選定作業の準備を進めている。業者決定後は12月を目途にシステムを構築、翌1月から3月を試験運用期間とし、来年4月1日からの本格稼働を予定している。</p>
<p>西田委員 山本課長 山本委員 竹見課長</p>	<p>校務支援システムの仕様は。 成績処理、出席管理、授業時数管理等ができるシステムを予定している。 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定委託の主な内容は。 市町村は、国が示す基本方針に即して、5年を1期とする子ども・子育て支援事業計画を定めることが義務づけられており、令和7年度から11年度の第3期の計画を令和5年度と令和6年度の2か年で策定していくこととしている。そのために、子ども・子育てに関する各種支援事業に係る量の見込みを、現在の利用状況に加え今後の利用希望を踏まえて設定する必要があるため、今年度、アンケート調査を実施する予定であり、その委託料を要求している。</p>
<p>鈴木委員 竹見課長</p>	<p>保育士等人材確保事業の主な内容は。 子育て企画課における保育士等人材確保事業については、2つの事業を計画している。一つ目が保育・教育就職フェアという形で、保育人材を確保するために、保育士の取得されている方、また取得見込みの方を対象に、保育体験や就職相談、園見学会を秋頃に予定している。もう一つの事業としては、保育園等へバスでの見学ツアーを予定しており、保育分野に就職したい学生等をターゲットとし、実際の現場や働いている方、保育方法等を見てもらう事業を開催する予定である。</p>
<p>吉良委員</p>	<p>保育従事者の資格取得を支援する助成金制度については継続事業なのか。継続事業であれば、これまでの資格取得者数はどの程度か。</p>
<p>西嶋次長</p>	<p>当該事業は今年度より創設する事業である。保育園やこども園で保育士資格を持たずに補助的な形で勤務しておられる方たちの資格取得を後押しする事業で、5名程度を想定している。</p>
<p>西田委員</p>	<p>幼稚園及び保育園の照明のLED化工事を実施するとのことであるが、保育室や遊戯室等、すべての照明が対象となるのか。また、当該工事の完了後、照明のLED化が完了していない園はまだあるのか。</p>
<p>西嶋次長</p>	<p>今回補正予算計上分以外の園は既にLED化が完了している。但し、こども園化を予定している今田保育園、今田幼稚園及びうりぼーはうす、こども園化を検討中のかやのみ幼稚園については、現時点でのLED化工事を見送っている。</p>
<p>西田委員</p>	<p>西紀きた幼稚園の卒園式時に現場を見たが、高所の照明がLEDにはなっていないかった。LED化に対する現場職員の意識はそれほど高くないので、担当課が先導し、計画的な取組をお願いしたい。</p>
<p>山本課長</p>	<p>学校施設照明のLED化の状況はどうか。 体育館を中心に取り組んでおり、教室はまだの学校もある。詳細を持ち合わせていないので、後日、報告する。</p>

西田委員	園と同様に意識の低い学校もあるので、担当課で先導しながら取り組んでいただきたい。
丹後教育長	議案第2号「令和5年度6月補正予算案を市長に提案することについて」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第2号「令和5年度6月補正予算案を市長に提案することについて」原案どおり可決する。
丹後教育長	議案第3号「『令和5年度丹波篠山の教育』の追加について」、教育総務課説明を求める。
酒井課長	《議案書に基づき説明》
山本委員	61頁の学校給食の充実と食育の推進については、これまでから地元の食材を生かした、おいしくて栄養のある給食を提供いただいていると感じている中、継続から拡充となっているが、さらに取り組む目標等があるのか。
斎藤所長	農都のめぐみ米の取組等は継続していくとともに、有機野菜もできるだけ積極的に取り入れていくことを含め、拡充としている。
丹後教育長	議案第3号「『令和5年度丹波篠山の教育』の追加について」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第3号「『令和5年度丹波篠山の教育』の追加について」原案どおり可決する。
丹後教育長	議案第4号「丹波篠山市教育支援委員会委員の委嘱について」、学校教育課説明を求める。
浅田課長	《議案書に基づき説明》
丹後教育長	質疑はないか。ないようですので、議案第4号「丹波篠山市教育支援委員会委員の委嘱について」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第4号「丹波篠山市教育支援委員会委員の委嘱について」原案どおり可決する。
丹後教育長	議案第5号「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」中央図書館説明を求める。

小島館長	《議案書に基づき説明》
西田委員	委員の構成について、区分ごとに人数の設定はあるのか。
小島館長	ない。
西田委員	公募で選ばれなかった1名はどのような経歴の方か。
小島館長	自ら文庫を開設されている方で、学校等での読み聞かせ活動もされている方である。
丹後教育長	議案第5号「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第5号「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」原案どおり可決する。
丹後教育長	日程第6、承認事項に移る。承認第1号「学校運営協議会委員の任命について」教育研究所説明を求める。
足立所長	《議案書に基づき説明》
西田委員	3か年の計画で幼稚園、こども園へのコミュニティ・スクール導入を予定されているが、課題をどのように考えられているのか。
足立所長	西紀南幼稚園については、園と小学校の校区が違う中、どのように進めていくのが最も望ましいのかを教育研究所でも検討している。また、味間認定こども園等の大規模園での進め方も検討していく必要があるが、先行実施するたき認定こども園の取り組みも踏まえながら進めていきたい。
西田委員	前任所長からは、昨年度の反省を踏まえ、1回目の研修を早める報告をいただいていたが、状況は。
足立所長	第1回の研修については、動画を見てもらう研修とし、令和3年度の多紀小学校や篠山中学校の学校協議会での取組報告の動画を見ていただき、具体的な話の中で進め方等を研修いただく形にしている。取組状況の詳細は把握できていないが、先週、篠山中学校で実施されたと聞いている。
西田委員	任期の1年目であるとともに、園へのコミュニティ・スクール導入の1年目である今年度は、新型コロナウイルス感染症が完全に落ち着いた訳ではないかもしれないが、丹波篠山市教育委員会の大きな柱の一つであるコミュニティ・スクールにとって重要な年であると思うので、事務局から積極的に呼びかけいただき、その活動がさらに活発になるように取り組まれない。
吉良委員	委員にPTA役員が入っているが、任期が3年である中、1年毎に改選されるPTA役員について、2年目や3年目も再任される等、滑らかな接続事例等があれば教示願いたい。
足立所長	ご指摘のとおり、1年毎にPTA役員は交代されるが、引継ぎを含め情報共

	有が図られ、接続もスムーズに行われていると聞いている。現時点で事例は把握できていないが、今後、確認していきたい。引き続き丁寧に引継ぎいただくようお願いしていく。
山本委員	学校運営協議会において、コーディネーターはとても大事である。学校が地域の中でコーディネーターを担っていただける人材を探すことが難しい場合、教育委員会からコーディネーターの発掘を促す等の取組はできるのか。
足立所長	コーディネーターの発掘について促してはいないが、これからそのような声かけもしていきたい。
西田委員	以前に自分が担当していた時に、地域おこし協力隊員に依頼し、何名か入ってもらったこともある。事務局も色々な視点から、積極的に活動していただきたい。
丹後教育長	色々なご指摘も踏まえ、市教育委員会、学校挙げてコミュニティ・スクールを盛り上げていきたい。
丹後教育長 全委員	承認第1号「学校運営協議会委員の任命について」異議はないか。 異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、認第1号「学校運営協議会委員の任命について」を承認する。
丹後教育長	日程第7、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」教育総務課に報告を求める。
山内課長補佐	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告2「後援名義の承認について」教育総務課に報告を求める。
山内課長補佐	《議案書に基づき報告》
山本委員	大畑大介のひょうご五国へLET'Sトライ！丹波スポーツチャレンジ（仮称）について、どのような取組か。
山内課長補佐	ひょうご五国ということで、丹波地域含めて県内五つの地域で順番に取り組みされており、昨年度は淡路で取り組まれた。昨年度は、大畑元選手によるラグビー教室の他、朝原元選手による陸上教室、高橋元選手によるバトミントンの無料体験が実施された。今年度は丹波篠山総合スポーツセンターでの実施が予定されており、大畑元選手以外のメンバーはまだ決まっていないが、同じように元アスリートや元オリンピックの方を講師に、色々なスポーツに親しんでいただく取組であると確認している。
吉良委員	こども防災&国際交流キャンプについて、開催場所は神戸市立自然の家他となっているが、後援名義を承認する理由を教示願いたい。
山内課長補佐	神戸市立自然の家の他に、南あわじ市にある淡路青少年交流の家、近隣で

	はるり溪少年自然の家や大阪府立青少年海洋センター、岡山倉敷市にある倉敷市自然の家を会場としているが、青少年健全育成に寄与する事業として、兵庫県全域を含め近隣県を対象に幅広く募集されていることから承認している。
丹後教育長	報告3「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課に報告を求め。
浅田課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告4「令和4年度丹波篠山市立中学校卒業時の進学状況について」教育総務課に報告を求め。
酒井課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告5「令和6年度使用教科用図書採択事務日程予定について」学事課に報告を求め。
山本課長	《議案書に基づき報告》
西田委員 山本課長	事務局は今年はこちらの市か。 本市である。
丹後教育長	報告6「丹波篠山市結核対策委員会委員の委嘱について」学事課に報告を求め。
山本課長	《議案書に基づき報告》
山本委員 山本課長	今でも結核事例はあるのか。結核対策委員会の必要性を教示願いたい。 ここ数年、再検査事例はない。海外の高蔓延国からの入国者について、検査をしてもらうように指導いただいたことがある。
西田委員 山本課長	学校医の位置づけはどのようになっているのか。 学校健診でお世話になっている内科医に就任いただいている。
西田委員	学校医と医師会の代表はいつも同一なのか。要綱で区別しているにも関わらず、同一人物で問題はないのか。
山本課長	確認する。
丹後教育長	報告7「丹波篠山市学校評議員及び丹波篠山市認定こども園評議員の委嘱について」保育教育課に報告を求め。

西嶋次長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告 8「丹波篠山市立田園交響ホール運営委員会委員の委嘱について」田園交響ホールに報告を求める。
酒井館長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告 9「丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について」総務課に報告を求める。
河南課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告 10「新型コロナウイルス感染症に係る市の対応について」学校教育課に報告を求める。
浅田課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告 11「兵庫県立氷上特別支援学校の通学区域について」学校教育課に報告を求める。
岸田次長	《議案書に基づき報告》
西田委員	心配していたが、県との粘り強い交渉で今回の結果に至ったことに感謝する。その上で、やはり平成 27 年 10 月 20 日の通知が全てであるとの原則を、今後においても、教育委員会事務局内で行わないでいき、度、県から協議があった場合もこの原則を確認いただきたい。一人でも氷上特別支援学校を希望する子どもがあれば、それを保障できる教育委員会であってほしい。県は全県的なことばかり言及するが、市教委は市民や保護者、子どものために仕事をしており、その思いを今後も大事にしていきたい。
丹後教育長	<p>報告 12「教育長報告」について報告する。38～39 頁にスケジュールを示しているが、コロナ禍も少し落ち着くとともに感染対策が進んだことに伴い、色々な行事が復活してきており、出席してきた。</p> <p>ここでの報告にあたっては、いつも定例校長会での報告を中心にペーパーを用意しているが、5 月 12 日の校長会では口頭で報告した。そこでは、コロナ禍が落ち着き色々な制限がなくなりつつあるが、単に戻すのではなくコロナ対応で得た多くの気づきや学びを活かした「ウイズコロナ」、より良い形での運営につなげてほしいということ話を話した。</p> <p>また、ゴールデンウィーク明けに休みがち子どもたちが増えるとの全国的な傾向もあるので、一人一人をよく見てほしいと伝えた。本市でも不登校</p>

が増えてきていることは気になっており、必ずつながっていただきますという話を話した。

また、色々な保護者や地域の方がおられる中、対応が難しい場合もあるが、粘り強く丁寧に対応してほしい。それが後に、結果的に良い流れにつながることもあるとの話を話した。自身の校長時代の経験談として、三田西陵高校で勤務していた時に、オープンハイスクールで部活動を見学していた中学生に体験を促したところ、張り切ってバットを振り回した結果、自分の勢いで胸を痛めてしまった。何度も家庭に呼ばれ、監督と私で謝罪を繰り返したが、結局その子どもは三田西陵高校を受験せずに私学に入学された。その後、体調不良もあって私学を辞めて、1年後に公立高校を受験されることとなったが、その時に三田西陵高校を受験してくれた。怪我をしたが、その後真摯に対応してもらったということで、もう一度受け直したということであった。学校においては、色々な事案があり、その対応も大変であると思うが、誠心誠意対応していけば道が拓けることもあるということをし、頑張ってもらいたいという気持ちを伝えた。その中で校長は元気で学校の先頭に立ってほしいと話した。

以上で、本日の審議は全て終了する。

これをもって、第2回定例教育委員会を終了する。